

2019年2月26日

長崎市市議会議長 五輪 清隆様

<紹介議員>

市議会議員

内田隆莫 

請願人 国保問題長崎市連絡会
代表 事務局長 柴原聖子 
連絡先 長崎市下町2-11
電話 

「18歳未満の子どもに関わる均等割」の

軽減措置を求める請願

請願趣旨

国民健康保険の大きな特徴は、医療を最も必要とする高齢者が多数を占めていることです。また、長引く経済の低迷と雇用形態の激変は、収入の少ない所得者層が加入者となっています。「国保税が年収の1割を超える」「払いたくても払えない」「食費を削って支払いに充てている」など、痛切な市民の声が上がっています。

特に18歳未満の子どものいる世帯に対しての均等割は国保税を押し上げ、少子化問題が言われる中、時代に逆行している制度です。特別調整交付金の中には子どものいる世帯への交付も予算化されていて長崎市がどう使うか決める権限があります。少子化対策のためにも子どものいる世帯の均等割をなくして下さい。

医療費の高騰、払えない保険税など国保財政の建て直しのために求められるのは、国庫負担金の引き上げが最重要課題です。国民皆保険制度を守るためにも国に対して負担金のさらなる増額を求めていって下さい。

請願項目

1. 18歳未満の子どもに関わる均等割の軽減措置行って下さい。
2. 国に対して負担金の増額をさらに求めてください。

以上

議会事務局議事調査課

